

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		児童発達支援 ポコアポコ		公表日		令和 7年 3月 19日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	<input type="radio"/>		個別・集団療育等各活動に合わせて、必要な十分なスペースの確保ができています。		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	<input type="radio"/>		各位置に必ず職員がついているので子どもの動線が確保ができています。		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	<input type="radio"/>		利用者様に合わせて療育道具等を変えています。絵カードを提示している。		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	<input type="radio"/>		活動後の清掃・整理整頓ができています。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	<input type="radio"/>		本人の気持ちの切り替えなどで、個別に対応する場合は別室にて落ち着ける環境を作っている。		
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	<input type="radio"/>		職員ミーティングを行い、問題解決や業務改善に努めている。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	<input type="radio"/>		定期的にアンケート等を実施し、業務改善に努めている。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	<input type="radio"/>		職員ミーティングを行い、問題解決や業務改善に努めている。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		<input type="radio"/>	スーパーバイズ研修、実習生の受入れ、関係機関や保護者の見学等を実施することで外部の視点や意見を聞く機会を設けている。	第三者による外部評価が行っていません。今後は外部評価を受けて業務改善に繋げていく。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	<input type="radio"/>		外部研修に参加したり、定期的に社内研修を行うことで、問題解決や業務改善に努めている。		
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	<input type="radio"/>		事業計画書を基に月案を適切に作成しホームページで公開している。		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	<input type="radio"/>		モニタリングを実施し、問題解決に向け職員間で会議し支援計画に反映させていく。		
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	<input type="radio"/>		関わる全職員で作成会議を行い共通理解をしてこどもの最善の利益に考慮している。		
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	<input type="radio"/>		関わる全職員が共通理解の基、計画に沿った支援が行われている。		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	<input type="radio"/>		活動や日常行動での得意・不得意を理解し計画を作成している。		
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	<input type="radio"/>		ガイドラインに基づき、作成した児童発達支援計画書を説明し、保護者様にご確認して頂き、同意を頂いている。		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	<input type="radio"/>		ミーティングにて利用者様の事例を共有・議論する ケース会議を行っている。		
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	<input type="radio"/>		月毎の目標をを設定し、それに伴った活動の導入をしている。		
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせることで児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	<input type="radio"/>		その子どもの状況に応じた課題を設定し、個別・集団療育を取り入れて作成している。		

	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	<input type="radio"/>		療育に入る前に必ず本日の療育計画を共有している。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	<input type="radio"/>		その日の療育の様子を必ず記録に残している。また、改善点を話し合う。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	<input type="radio"/>		その日の療育の様子を記録に残していません。また、改善点を話し合う。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	<input type="radio"/>		定期的にモニタリングを行い計画を作成、更新していく。	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	<input type="radio"/>		現在は医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子どもの利用はありません。	
	25	地域の保健、医療(主治医や協力医療機関等)、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	<input type="radio"/>		保護者様からの聞き取りや関係機関との支援会議にて情報共有をしながら相互理解に努めている。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	<input type="radio"/>		保護者様からの聞き取りや関係機関との支援会議にて情報共有をしながら相互理解に努めている。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	<input type="radio"/>		積極的に研修等へ参加出来るようにしている。	
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	<input type="radio"/>		子育て支援センターで発達検査を受けた場合、その報告書を保護者同意のもと共有している。地域に向けた研修を実施した際には参加するようにしている。	
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	<input type="radio"/>		近隣の公園で地域の子どもと遊ぶ機会がある。	
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	<input type="radio"/>		療育終了後、連絡帳アプリや個別対応等で発達や課題について伝え合っている。	
保護者への	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	<input type="radio"/>		本年度もVIDAサロン(保護者交流会)を実施した。来年度も実施していく。	
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	<input type="radio"/>		保護者に丁寧に分かりやすく伝えている。	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の視点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	<input type="radio"/>		子どもの様子や聞き取りを丁寧に行い、保護者との話し合いで前向きな意向になるよう確認している。	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	<input type="radio"/>		支援計画書を説明し、同意をえている。	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	<input type="radio"/>		定期的に家庭訪問をし相談や助言を行っている。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	<input type="radio"/>		保護者間の交流会を定期的に開催している。	

説明等	40	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	<input type="radio"/>		随時迅速に対応している。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	<input type="radio"/>		当社HPにて公開している。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	<input type="radio"/>		個人情報が記載されてる書類は鍵付きの書庫に保管し、廃棄書類はシュレッダーをしている。	
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	<input type="radio"/>		利用者様・保護者様の状態に応じて視覚的情報などを活用して意思疎通・情報伝達等に努めている。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	<input type="radio"/>		事業所主催のイベントを開催して、地域の方々とも交流できる機会を作っている。	
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	<input type="radio"/>		月に一回以上災害を想定した避難訓練を実施して備えている。	
	46	業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	<input type="radio"/>		業務継続計画を策定し、定期的に確認し、必要な訓練を実施している。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	<input type="radio"/>		服薬、アレルギー、てんかん発作有無に関しては確認しています。予防接種については今後検討していきます。	
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	<input type="radio"/>		保護者の聞き取りの元、完全除去をしている。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	<input type="radio"/>		避難訓練、防犯訓練等を行い職員の役割分担をして安全管理に努めている。	
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	<input type="radio"/>		実際の活動を保護者に伝えることで周知している。	マニュアル作成でより分かりやすく周知していく。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	<input type="radio"/>		ヒヤリハットが発生した場合には、ヒヤリハットの報告書を作成し、職員間で共有している。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	<input type="radio"/>		定期的に研修を行い、適切な対応をしている。	
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	<input type="radio"/>		管理者、児童発達管理責任者の判断のもと、身体拘束の必要性をご家族と確認している。計画書にも記載している。		